平成28年度
鳥取県東部沿岸土砂管理連絡調整会議
＜要旨＞

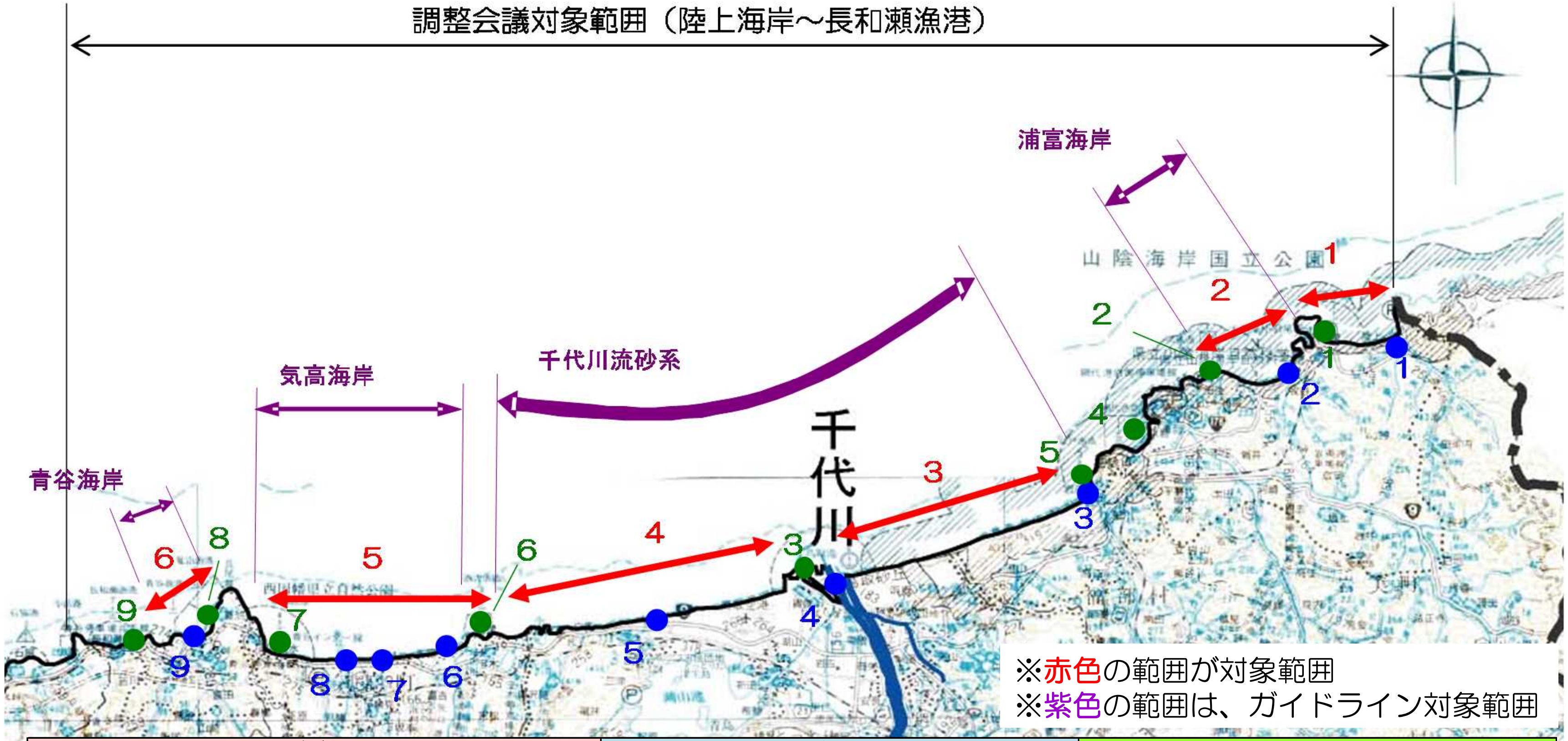
H28年6月撮影

平成28年11月 22日（火）

鳥　　　　取　　　　県

東部沿岸の対象範囲について

説明資料　1-1 参照



海岸					河川					港湾・漁港				
	名　称	管理者	種　別	実施事業		名　称	管理者	種　別	実施事業		名　称	管理者	種　別	実施事業
1	岩美海岸（陸上地区）	鳥取県	建設保全海岸	汀線・深浅測量 養浜・サンドリサイクル	1	陸上川	鳥取県	二級河川	河口掘削	1	東漁港	岩美町	第1種漁港	航路・泊地浚渫
2	岩美海岸（浦富地区）	鳥取県	建設保全海岸	汀線・深浅測量 リーフ整備 サンドリサイクル	2	吉田川	鳥取県	二級河川	河口掘削	2	田後港	鳥取県	地方港湾	航路・泊地浚渫
3	福部海岸・湯山海岸	鳥取県	建設保全海岸	汀線・深浅測量 リーフ整備 サンドリサイクル	3	塩見川	鳥取県	二級河川	河口掘削	3	鳥取港	鳥取県	重要港湾	航路・泊地浚渫
					4	千代川	国土交通省	一級河川		4	網代漁港	鳥取県	第3種漁港	航路・泊地浚渫
										5	岩戸漁港	鳥取市	第1種漁港	航路・泊地浚渫
4	鳥取海岸（鳥取西地区白兎）	鳥取県	建設保全海岸	汀線・深浅測量	5	湊川	鳥取県	二級河川	河口掘削					
5	気高海岸（水尻地区）	鳥取県	一般公共海岸	汀線・深浅測量						6	酒津漁港	鳥取市	第1種漁港	航路・泊地浚渫
	気高海岸（浜村地区）	鳥取県	建設保全海岸	汀線・深浅測量 サンドリサイクル	6	河内川	鳥取県	二級河川	河口掘削	7	船磯漁港	鳥取市	第1種漁港	航路・泊地浚渫
					7	浜村川	鳥取県	二級河川	河口掘削					
					8	永江川	鳥取県	二級河川	河口掘削					
6	青谷海岸	鳥取県	一般公共海岸	汀線・深浅測量 サンドリサイクル	9	勝部川	鳥取県	二級河川	河口掘削	8	夏泊漁港	鳥取市	第1種漁港	航路・泊地浚渫
										9	長和瀬漁港	鳥取市	第1種漁港	航路・泊地浚渫

東部沿岸の評価対象海岸

説明資料　1-1 参照

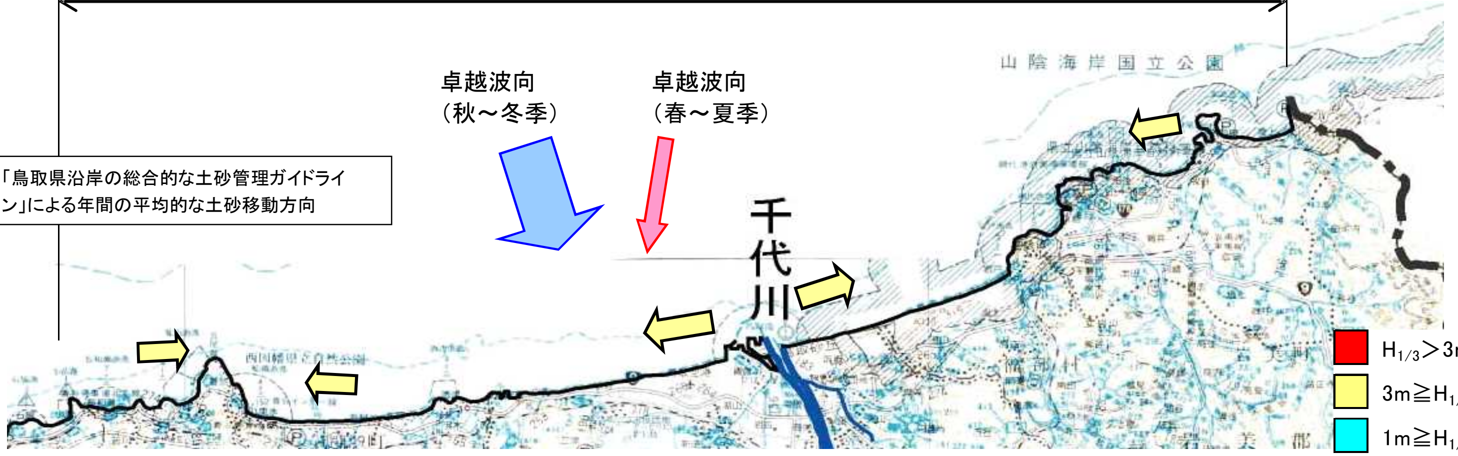
	海岸	近年の状況	事業費（２７年度）	現場状況
ハード整備及びサンドリサイクル実施	**岩美海岸（浦富地区）**	○　人工リーフ開口部の局所洗掘 ○　風浪による汀線後退 事業 ： 人工リーフ整備、サンドリサイクル 汀線・深浅測量	141（百万円） （交付金・単独費） サンドリサイクル ブロック製作 汀線・深浅測量等	
	千代川右岸漂砂系（福部海岸・湯山海岸）	○　人工リーフ未整備区間・鳥取砂丘東側での局所的な海岸侵食 事業 ： 人工リーフ整備、サンドリサイクル 汀線・深浅測量	213（百万円） （交付金・単独費） サンドリサイクル リーフ整備 汀線・深浅測量	
	岩美海岸（陸上地区）	○　冬季風浪・台風による浜崖発生（H26年度 、H27年度） 事業 ： 養浜、サンドリサイクル 汀線・深浅測量	70（百万円） （交付金・単独費） 養浜 サンドリサイクル 汀線・深浅測量	
サンドリサイクルのみ	**千代川左岸漂砂系（鳥取西地区白兎）**	○　伏野海岸で浜崖発生、応急的に土のう設置（H25年度、H28年度） 事業： 汀線・深浅測量	5（百万円） （単独費） 汀線深浅測量	
	青谷海岸	○　井手ヶ浜にて冬季風浪による浜崖発生（H26年度） 事業： サンドリサイクル（H28～） 汀線・深浅測量	４３（百万円） （単独費） サンドリサイクル 汀線・深浅測量、調査	
	気高海岸	○　浜村川右岸で浜崖が発生，緊急的に矢板設置（H25年度） ○　浜村海岸で局所侵食発生，緊急的に土のう設置（H26年度） 事業： サンドリサイクル、汀線・深浅測量	６９（百万円） （単独費） サンドリサイクル 汀線・深浅測量	

対象範囲の波浪・漂砂移動について

説明資料 1-2 参照

調整会議対象範囲（陸上海岸～長和瀬漁港）

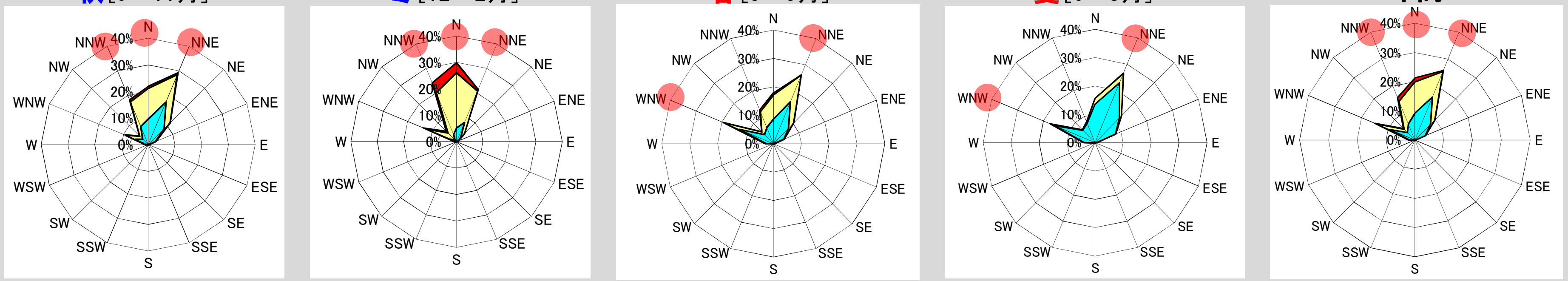
「鳥取県沿岸の総合的な土砂管理ガイドライン」による年間の平均的な土砂移動方向



H$_{1/3}$＞3m 頻度割合（%）
3m≧H$_{1/3}$＞1m 頻度割合（%）
1m≧H$_{1/3}$ 頻度割合（%）

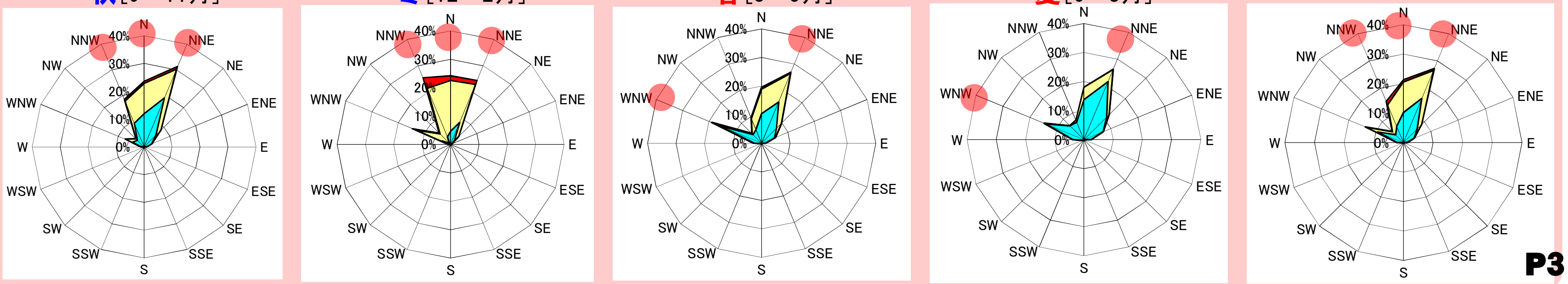
近年波浪（H15～H27）の傾向

秋[9～11月] 冬[12～2月] 春[3～5月] 夏[6～8月] 年間



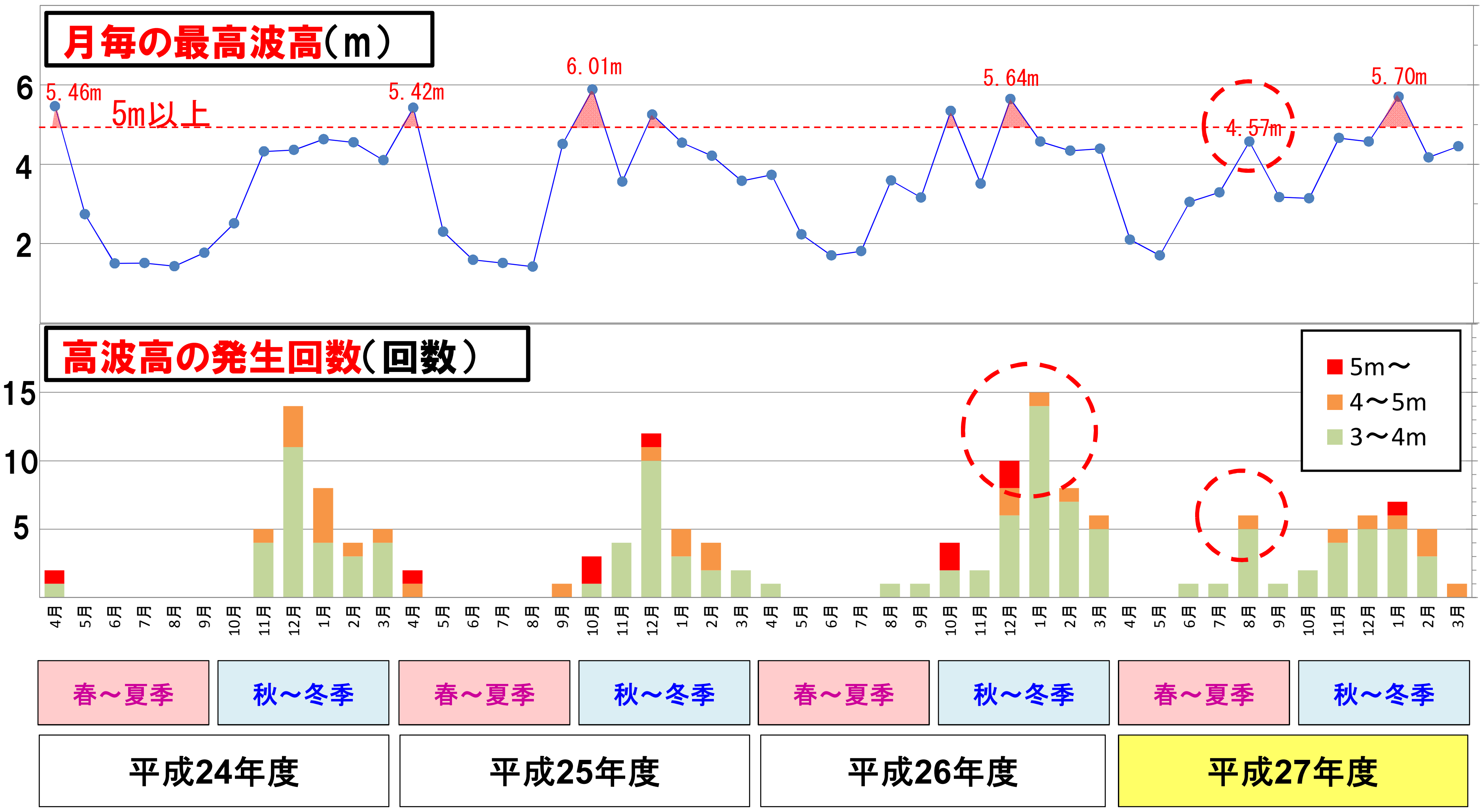
昨年度（H27）の波浪傾向

秋[9～11月] 冬[12～2月] 春[3～5月] 夏[6～8月] 年間



対象範囲の波高について

説明資料　1-3参照

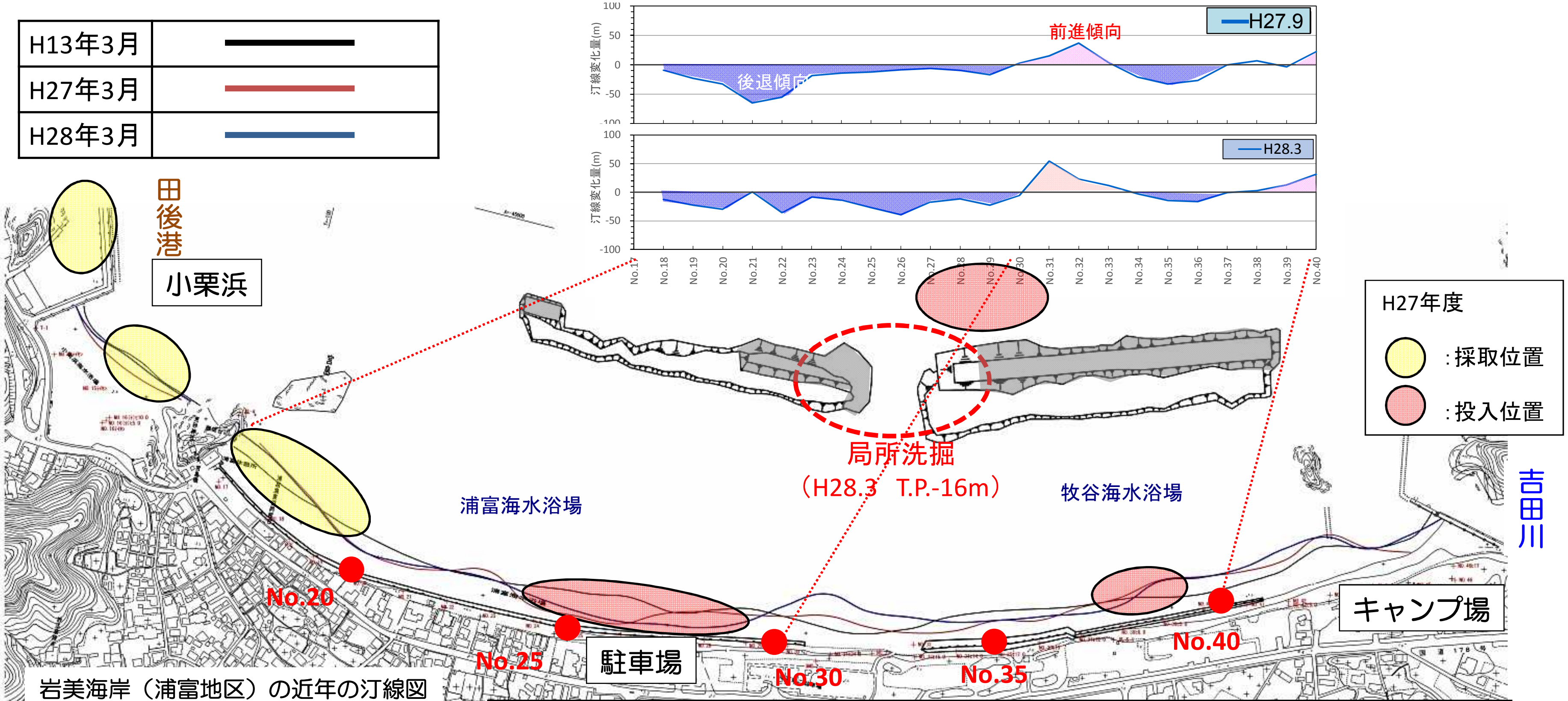


①岩美海岸（浦富地区）【航空写真】

①岩美海岸（浦富地区）【評価分析・方針】

説明資料 3-1 ～ 3-5参照

平成27年度 岩美海岸（浦富地区）の長期汀線変化状況図（平成13年3月基準）



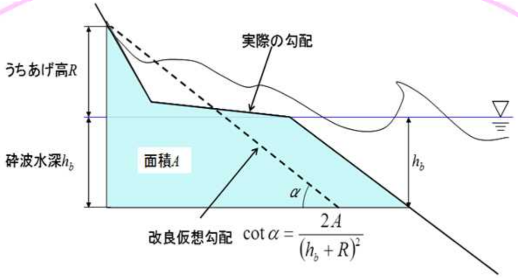
長期的な変化（H13→H28）	**人工リーフ未整備部において侵食傾向（整備部は堆積傾向）。リーフ開口部には依然、局所的な深掘れ。**
過年度の対策（H13～H27）	**人工リーフ整備**（H26～H27年度休止）、**サンドリサイクル**
本年度の対策（H28）	**人工リーフ整備**（H28年度より整備再開）、**サンドリサイクル**
短期的な変化（H27→H28）	**サンドリサイクルの効果により汀線は安定傾向。近年は深掘についても進行が安定**
来年度の対策予定（H29）	**人工リーフ整備、サンドリサイクル**

○ **H13～27年度 サンドリサイクル量565，874m3（年平均 37，725m3）、H27年度 37，847m3**
○ **H27年度にリーフ整備方針が定まったところ。**
⇒ 沿岸部の侵食、開口部の深掘れの様子を見ながら、残区間のリーフを整備予定。

参　考

鳥取沿岸の目標とする浜幅（目安）

『防護』で必要な浜幅　⇒　25m



越波防止の観点・過去の海岸侵食状況を考慮して設定。
※越波防止に関しては「中村の仮想勾配法」による波のうちあげ高を算出。

『環境』に適した浜幅　⇒　施工配慮

海浜に生息する動植物、「白砂青松の海岸」、「山陰海岸国立公園」等の景勝地に影響のない浜幅を検討。

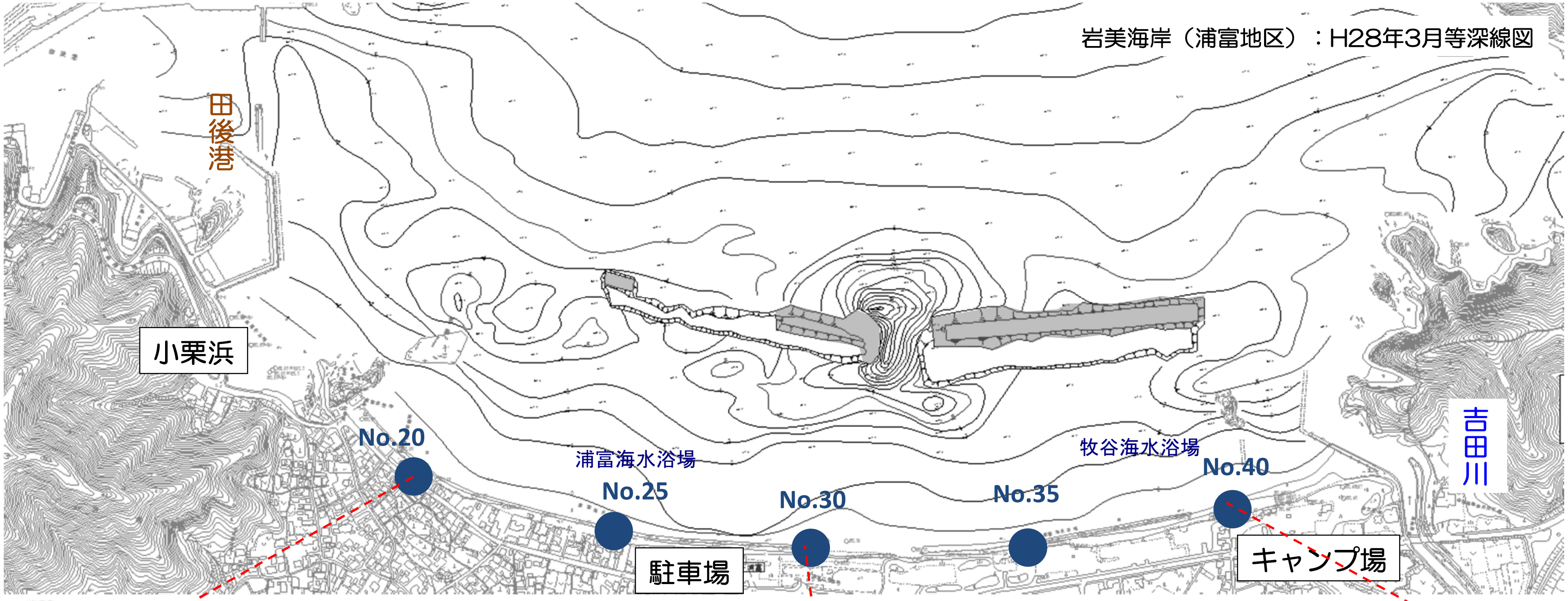
『利用』に適した浜幅　⇒　40m

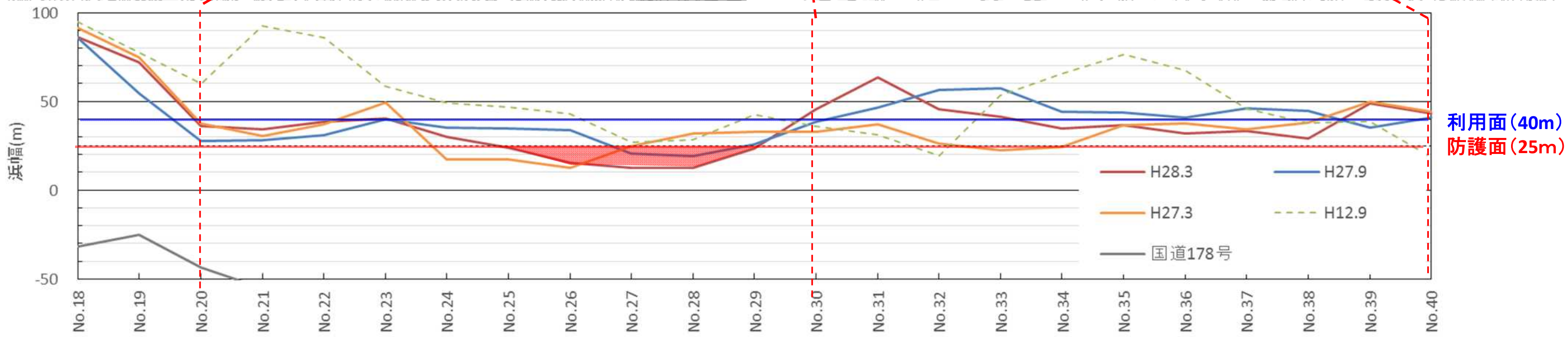
海水浴場・地引網・キャンプ等の海浜レクリエーションで利用しやすい浜幅を検討。

「国土交通省港湾局監修（2005.10）：ビーチ計画・設計マニュアル（改訂版）」海水浴客の海浜幅に対する評価より、40mと設定。

①岩美海岸（浦富地区）【目安とする浜幅分析】

説明資料　3-13参照



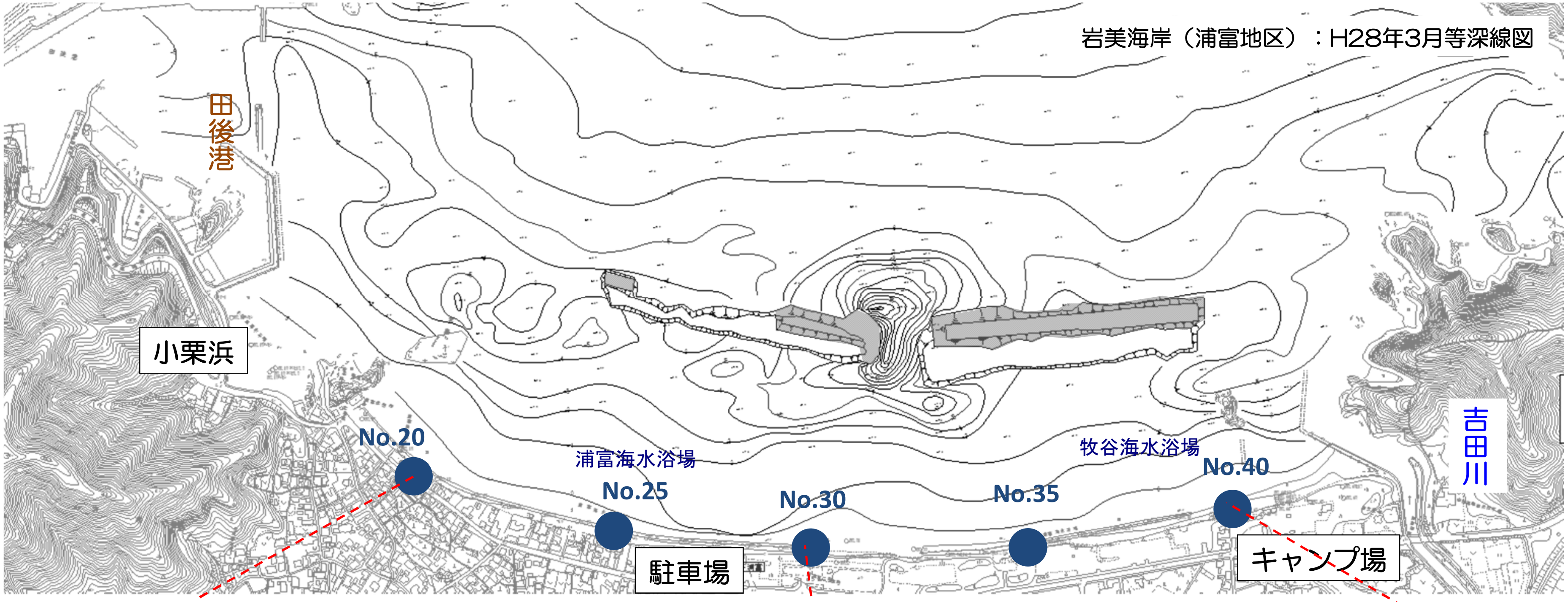


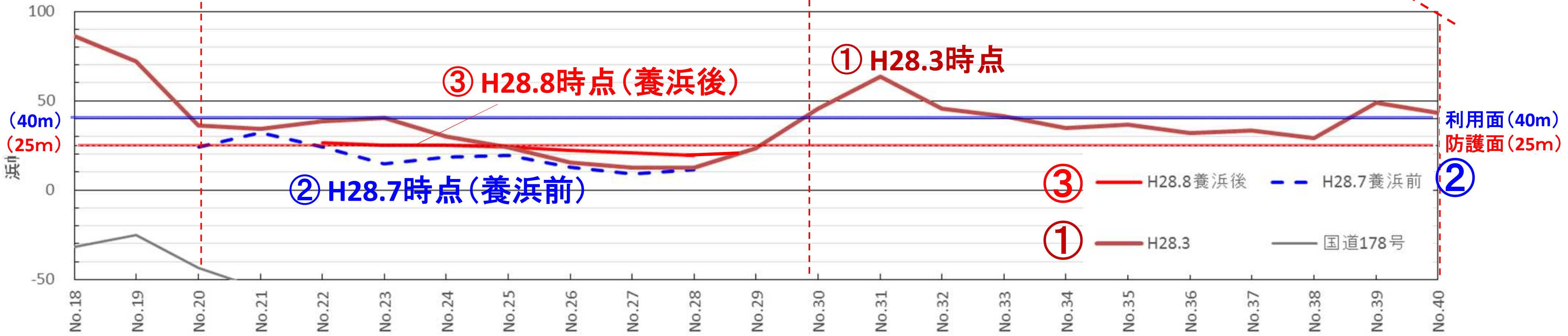
○ 利用　・・・　浦富・牧谷海水浴場は目安浜幅を下回っている状況。海水浴時期は注視する。

○ 防護　・・・　概ね確保されているが、リーフ未整備区間背後は下回っている状況。

①岩美海岸（浦富地区）【目安とする浜幅分析】

説明資料 3-13参照





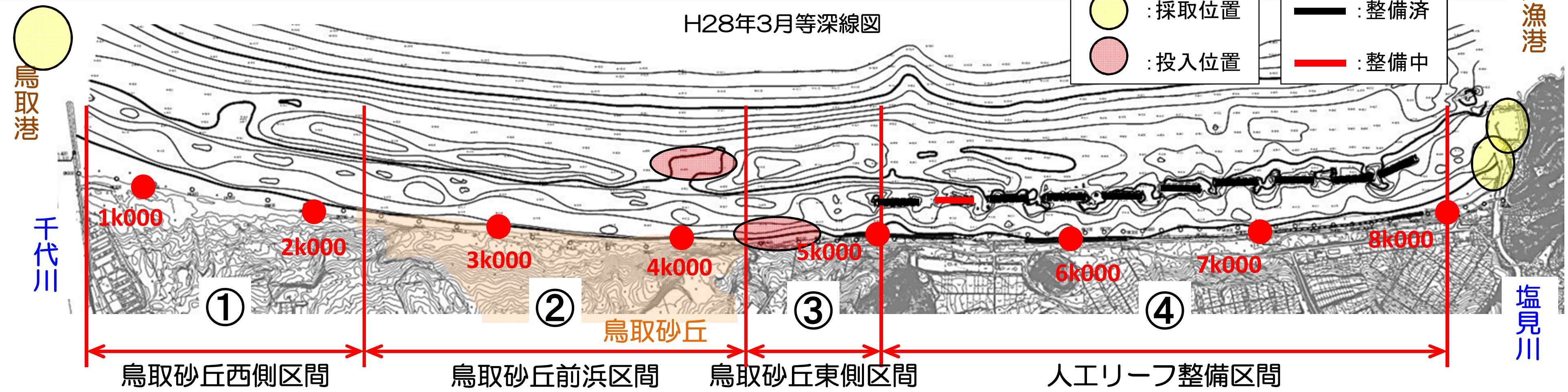
夏季サンドリサイクル後には、概ね防護面を満たす浜幅を確保

②千代川右岸 【航空写真】

平成２８年6月３日撮影　航空写真
平成２８年9月撮影
オアシス広場
鳥取砂丘→
海水浴場
5号リーフ
6号リーフ
7号リーフ
8号リーフ
（現在整備中）
9号リーフ

②千代川右岸 【評価分析・方針】

説明資料 4-1～4-5参照



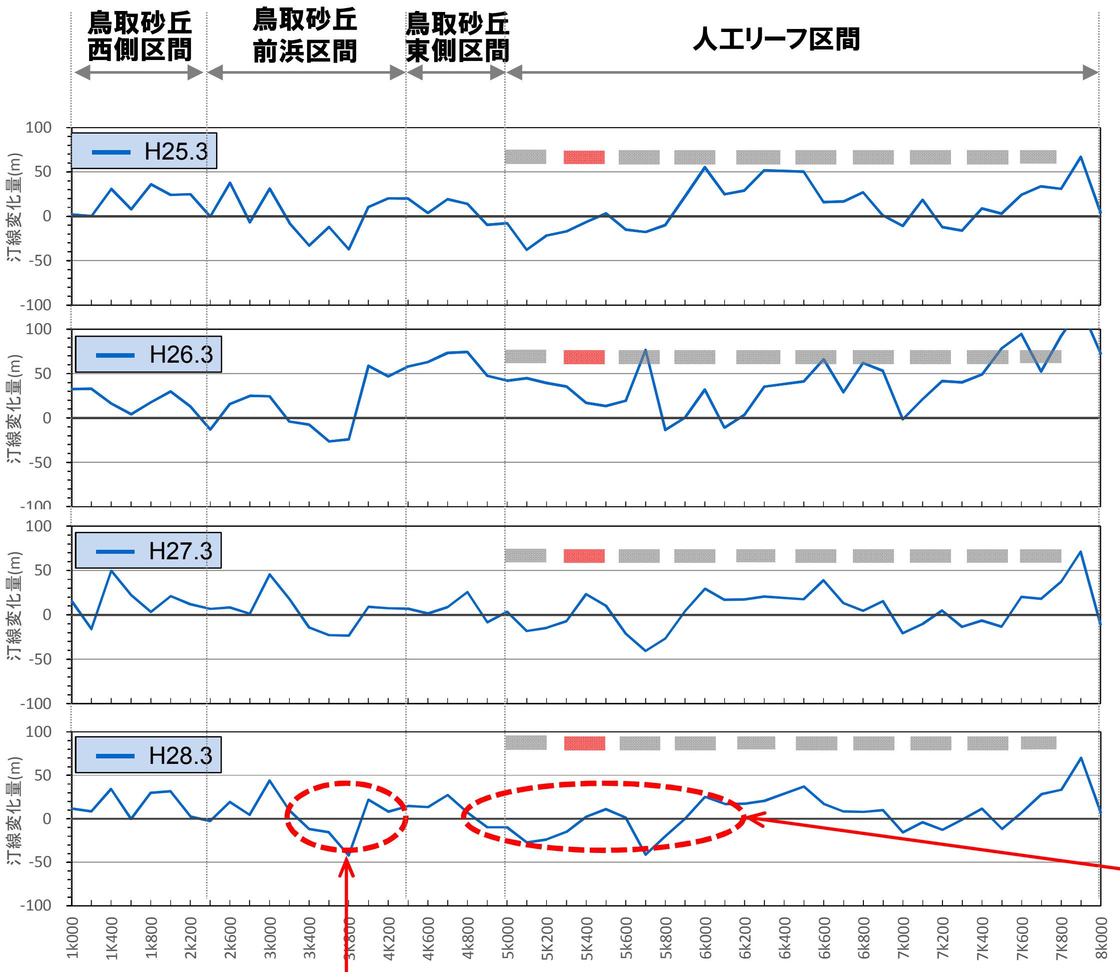
	①（鳥取砂丘西側区間）	②（鳥取砂丘前浜区間）	③（鳥取砂丘東側区間）	④（人工リーフ整備区間）
長期的な変化 (H18→H28)	安定傾向	西側は安定 東側は侵食傾向	東側侵食傾向	全体的に安定傾向 リーフ未整備箇所・西端は侵食傾向
過年度の対策 (H18～H28)	−	サンドリサイクル	H22～23年度　駟馳山BP サンドリサイクル	サンドリサイクル 人工リーフ整備
本年度の対策 (H28)	−	サンドリサイクル	−	サンドリサイクル 人工リーフ整備
短期的な変化 (H27→H28)	概ね安定傾向	概ね安定傾向	概ね安定傾向	概ね安定傾向
来年度の対策予定 (H29)	−	サンドリサイクル	サンドリサイクル	サンドリサイクル、人工リーフ整備

○ **H17～27年度　サンドリサイクル量697，425m3（年平均 63，402m3）、H27年度　47，833m3**
○ **鳥取砂丘前浜区間 東側が汀線後退傾向。引き続きサンドリサイクルが必要。**
○ **人工リーフ未整備箇所が汀線後退傾向。引き続きサンドリサイクルが必要。（H29年度リーフ完成予定）**

②千代川右岸 【評価分析・方針】

説明資料 4-1～4-5参照

○サンドリサイクル開始以後の汀線経年変化



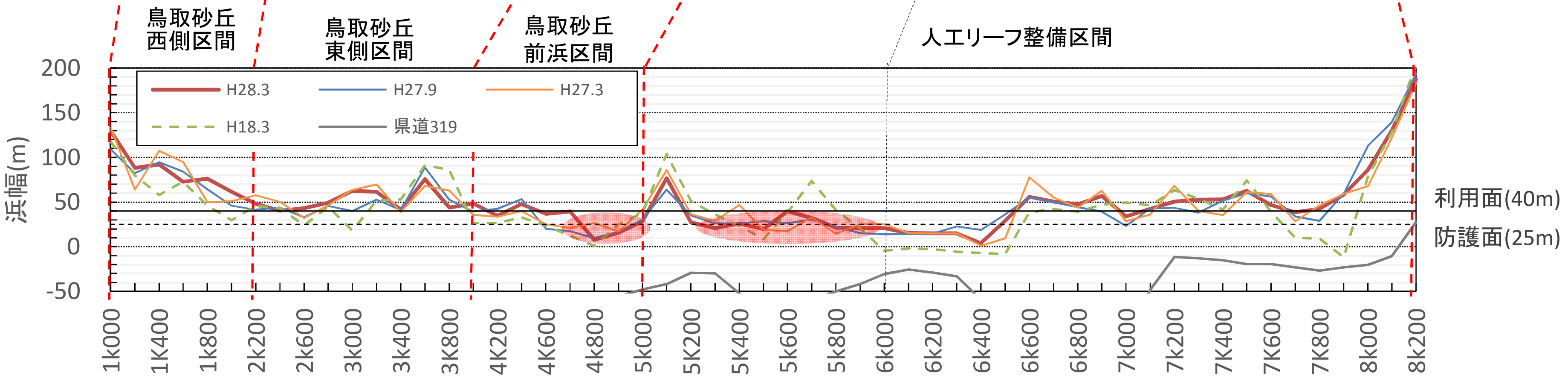
H18年を基準とすると、サンドリサイクルにより、汀線状況は、落ち着いている。

【リーフ西端、未整備区間】
局所的に後退傾向。

鳥取砂丘東側が局所的に後退傾向。

②千代川右岸 【目安とする浜幅分析】

説明資料 4-12参照



○ **利用** ・・・ **鳥取砂丘海水浴場は、浜幅が確保できていないため継続的に監視していく。**

○ **防護** ・・・ **概ね浜幅は確保されているが、リーフ未整備区間背後付近については狭い箇所がみられるため、引き続き注視していく**